

2026 年 7 月 10 日

2026 年 6 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判・巻取ともに若干のスポット案件はあったものの、昨年同月比で同水準となった。

在庫について平判は若干増えたが巻取が販売数量増に伴い、在庫量が減った。

（前年比 平判 98.0%・巻取 104.6%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の定期誌以外のスポットが無く、昨年を大きく下回った。

巻取は広報誌関係の定期案件に加え、若干のスポット案件があり、昨年を上回ったものの再生紙全体では昨年を下回った。

（前年比 平判 78.0%・巻取 103.6% 再生上質計 91.1%）

再生平判が前年比で大きく落としたものの、印刷用紙 A 全体では昨年を若干下回る結果となった。また印刷用紙 A 全体の在庫量はほぼ昨年並みであった。

（印刷用紙 A 全体前年比 99.3%）

<A2 コート>

平判は、食品デリバリーやスーパー、ディスカウントストア等のチラシ案件等で動きがみられたが、昨年のグロスの伸びの反動もあり、グロスでは昨年を大幅に下回ったが、マットは少し上回った。

巻取は、家電量販店、食品デリバリー、商品カタログ等で動きがみられたが、前月のラテックス問題による買い込みの反動があった為、グロス、マット共に前年を下回った。

（前年比 平判 95.4% 巻取 91.1% 全体 94.6%）

<A3 コート>

株主総会関連、ドラッグストアや量販店、食品デリバリー等の定期チラシ案件で動きがあったが、昨年の伸びの反動や、ラテックスの問題による在庫の不安定化からの失注や上質への用紙変更、リスク等の事例もあり、平判、巻取共に昨年を大幅に下回った。

（前年比 平判 84.6% 巻取 55.9% 全体 63.9%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融系手書き帳票の動きは見られたものの目立ったスポットはなく昨年を下回った。

巻取は共済系帳票の動きが見られた。また、昨年が非常に低調だったため（前年比 65.1%）、その反動もあり、昨年は大幅に上回った。

（前年比 平判 96.3% 巻取 118.8%）

<上質フォーム>

月前半まで株主総会の通知物、半ばまでは自治体の税金納付書の通知書や資格確認書などの動きはあったものの、後半目立った案件なく失速し、昨年を下回った。

（前年比 91.3%）

<包装用紙>

全般的に保険・株式向け封筒等に動きが見られた。

特殊両更に関しては飲料メーカーの封筒で大口スポットがあり、また大手書店のブックカバーの動きも見られ、昨年は大きく上回った。

純白ロールは贈答用、お中元関連の包装紙に加え、スーパーマーケット向けの包装紙に動きも見られたが、昨年は若干下回った。

包装紙全体では 102.3%と昨年は上回った。

（前年比 102.3%）

<板紙>

コートボールは中東危機を背景に、資材高騰による 7 月からの食品・日用品関連の値上げの影響でパッケージ需要が有り昨年は上回った。

高板は依然として外装箱等トレーディングカード関連需要が堅調、季節商品の需要も有り昨年は上回った。

特板は医薬・化粧品やお土産向け菓子パッケージ等の動きも見られ、昨年は上回った。

チップボールは出版用途での落ち込みが続き低調であった。エンタメ系のスポット案件が一部あり昨年は上回った。

（前年同月 111.9%）